

2016年建議の訴求点

<全体コンセプト>

「公平性の確保」

<建議の三要素>

1. 近代的な市場体系の完備

秩序ある競争の行われる市場体系の建設のため、公平競争の障害となっている各種制度の見直し、知的財産権制度の一層の改革を要望する。

2. 行政管理体制改革の深化

法治政府・サービス型政府の建設のため、行政手続きの簡素化・迅速化、許認可・認証の大幅な廃止を要望する。

3. 対外開放新体制の完備

経済のグローバル化に適応するため、製造・サービス業分野での外資参入制限の一層の開放、グローバルスタンダードのさらなる採用を要望する。

<本年の重点分野>

1. 「省エネ・環境」

省エネ・環境規制の高度化を要望する。規制導入に当たっては、科学的な正当性の向上、十分な準備期間の確保、効率的な仕組みの構築（先進国で主流となっている自己適合宣言の導入など）を要望する。

2. 「物流」

サプライチェーンの効率性の向上のため、通関、流通、輸送等に関する人的・物的・制度的インフラのさらなる整備、予見可能性の向上（危険品取り扱い、交通規制）、業界モラルの向上を要望する。